

第 10 回腹腔鏡下胆道手術研究会 (LABS) 幹事会 議事録

2022 年 1 月 15 日 (土) 16 時 オンライン開催

出席: 中村慶春、砂川宏樹、梅澤昭子、松村直樹、倉内宣明、法水信治、内藤剛(委任)、徳村弘実

会則上、過半数で会成立

議長 徳村弘実

1. 会計報告: 残高 1 月 13 日現在: 1938, 699 円
 予算支出: HP 更新料、事務経費、講師謝金: 計 104, 000 円
 収入: 参加費 (年会費) 3,000 円 支払見込 70 名
2. 次回会長予定: 梅澤昭子先生挨拶、会期、場所一任
3. 今後の活動: LCBDE の症例登録を、倉内先生より提案。倉内先生を中心に
 して検討。詳細は今後メール審議する
4. 今回会長、挨拶
5. その他: メンバーの増員を図る

LABS10 会長まとめ

第 10 回 LABS オンライン開催に付きまして、皆様には大変ご協力を頂きありがとうございました。お陰様で予想より、議論が盛り上がり内容の濃いものになりました。浅井先生を急性胆嚢炎の演者に立てたことは正解でした。渡邊学先生のご推薦でした。僭越ながら昨今、本物の急性胆嚢炎のプレゼンの少ないなか、ど真ん中で戦っている本物の技術、日本のトップのレベルを見せていただいた印象がしました。胆管結石の方は、百戦錬磨の千野先生そして野村先生のプレゼンはまさに専門家のエッセンスがふんだんに網羅され聴き応えのあるものでした。ただ、CBD に手を付けていない先生方からはディスカッションが重箱の隅的な感想を持たれた方も多かったのではないのでしょうか。どの領域もほんま者の専門家同士の話は第三者からは退屈と映ることが多いものですね。その点、春田先生の発表は現場感のある日常の外科医の思いが伝わりました。また、胆管切石術 (LCBDE) が、EST+LC に比べ短期長期とも優性であることを認識し、本手術を広げたいとの気持ちを改にいたしました。

今回オンラインではありましたが、laparoscopic advanced biliary surgery LABS の名の通りの内容になったのではないかと自負しているところです。演者、司会、コメンテーターそして視聴者の先生方皆様に感謝です。